

獨逸モーター化の新しき進路

M T 生

獨逸四箇年計畫の總裁たるゲーリング元帥は自動車の型の規格

統一を計り以て獨逸自

動車工業の合理化を進

める爲に、アドルフ・

フォン・シエル大將を

自動車總監に任命し、

この事業の全權を委任

した。以下自動車總監

の任務を理解する爲に

自動車總監の所論を聞

くことゝしよう。

自動車總監の任務はその任命の理由によつて明らかである。次の主たる四つの理由が總監を任用せしむるに至つた。



アドルフ・ヒットラー總統

一、生産力擴充の斷行。

二、實用自動車値下の斷行。

三、資金、勞力、資材の徹底

的利用の斷行。

四、國防目的の爲全自動車利

用の斷行。

獨逸國の動力化は總統の意

志によつて過去六年間に力強

き發展を遂げた。自動自轉車

を除いた自動車の生産高は一九三二年に於て約五萬臺を敷

へたのであるが、政權獲得の初年に於て既に約十萬五千臺

に倍化し、爾來上昇の一路を辿つて一九三七年には早くも約三十二萬五千臺に達した。即ち僅か五年の間に年産高が六倍となつたのである。この事は、獨逸が自動車を渴望してゐたこと、換言すれば巨大な需要が存したことを證明してゐる。併し此の老大な生産増加にも拘らず我々は長いこと未だ自動車に充ち足りてはゐない。否、モーターは今日に於て漸くその緒に就いたのである。

證明のため次の二つの事實を挙げよう。

一、全モーター化に對する實用自動車の割合は、獨逸に於ては約一七パーセントにしかならない、歐洲に於ける平均は二五パーセントに達してゐる。

二、自動車工業は特に貨物自動車生産に於ては製品引渡期限が非常に長い。而して一九三九年の製品は既に一九三八年秋に賣切れの所があつた。

この事から推論されるのは、獨逸のモーター化は未だ極めて貧弱である——この事はそれだけ取離して見れば購買力の缺如に歸し得られるだらうが——ばかりでなく、既存

の總てのものを利用し盡しても十分に充たし切れない需要が存するといふことである。

六箇國モーター化の進展狀況
(自動車一臺に對する人口數)

	1932年	1938年
獨逸……	100	44
英 本 土……	30	19
佛 國……	25	19
伊 太 利……	140	99
米 國……	5	4
加 奈 陀……	9	

從來の生産力擴充は、使用し得る勞力、原料を既設の工場へおくり込むことによつて達成された。周知の如くあらゆる方面に於て生産力擴充の促進を迫られてゐる獨逸にとつて、これ以上の人力、資材をとり入れることは最早不可能である。が故に、是が非でも必要な生産力擴充を遂行するためには、どうしても別の方法が見出されねばならぬ。

自動車許可數 (單位1000臺)

a) 乗用自動車

	獨逸	米國	英國本土	佛國	伊太利
1932	41,1	1069,4	156,0	137,8	19,3
1933	82,0	1493,8	186,5	149,0	27,9
1934	130,9	1888,6	230,9	152,6	30,2
1935	180,1	2743,9	281,4	141,1	25,3
1936	213,1	3404,5	310,1	168,6	21,2
1937	216,5	3475,5	318,5	161,8	34,2
*1938	217,9	1612,9	266,7	176,1	42,2

*見積り

b) 貨物自動車

	獨逸	米國	英國本土	佛國	伊太利
1932	7,0	180,4	50,6	28,3	3,5
1933	11,6	245,9	64,2	28,2	4,1
1934	23,5	403,9	79,1	24,1	4,0
1935	33,8	510,7	82,6	21,1	4,3
1936	45,7	611,6	103,4	21,6	3,4
1937	45,2	616,0	101,1	21,0	5,5
*1938	50,8	345,9	944,7	20,6	6,9

*見積り

自動車は獨逸に於て成程ナチス政權樹立以來大幅の値下を見た。併しそれにしても此の價格では國外市場に於て大モーター化國と競争することは到底不可能である。併し如何なる事情があるにしても輸出を計ることは、總統が一九三九年一月卅日國會の演説に於て内外に力強く印象づけた所である。輸出の一前提は獨逸製自動車の適當の値下であ

る。

値下の結果として國內に於ける販路の擴張は自明のことである。即ちこの値下に依つて獨逸國內のモーター化案は斷然促進せられるであらう。

資金、勞力、資材の徹底的利用の斷行に就いては前に一寸觸れたが、これは既に他の方面で説明されてゐることであるから、茲では割愛することにす。

併し國防目的の爲全自動車利用の斷行に就いては、簡單なる説明を必要とする。

防禦力は決して夫れ自體のものでなく、國家、國民全構造の一表現形式に過ぎない。武器を執る現實的國民は、國土とその特性が提供する一切のものを常に國防目的に用ひねばならない。例へば昔から草原帯居住民族は戦争に於ては騎兵隊であり、農業民族は歩兵隊であつた。かくて工業國は矢張り、工業の總ての可能性即ち技術を國防目的に役立たしむる軍隊を持たねばならない。然らざれば滾々たる工業の泉は、生活のため最も必要な目的、即ち郷土防衛の

目的の爲には汲み出し得られないこととならう。近代防禦力は今日に於ては最早モーター化なしには考へ得られない。モーター化は速度と可動性を増大する。而して速度と可動性は戰勝を期する上に常に決定的要素である。

戰爭に於ては簡單なもののみが、而も直ちに入手が出來、而して常に必要量が生産及補給され得る簡單なもののみが効果を收めるのであるから、モーター化は極めて簡單な基礎の上に打立てられねばならず、戰時に於ては必要にして又可能なる程度にモーター化が行はれ得るといふことが此處の結論である。

以上が自動車總監の任命さるるに至つた主要理由の概略である。そして又之等種々の重要問題は、全體の重要性を洞察し得る地位の者に依つて指導されてのみ短日月の間に成功裡に解決され得ることは明かである。

故に總監には工業、商業、勞務配置、國防の立場からモーター化に着手すべき任務が課せられてゐるばかりではない。總監は繼起する問題を國家全體の必要といふ包括的立

場から指導すべき任務を有してゐる。此處に注意すべきは國防の重要性が勿論第一位を占めねばならぬといふことである。何故なら國防の確立は國家、國民護持の基礎であり、従つて經濟活動等の可能性の基礎であるからである。それ故、自動車總監の任命も特に防禦力の點より提言されたのである。總監に課せられた任務は多々あるが、特に一つの點、即ち動力化も亦他の方面に於ける發展可能性と合理的聯關を保つてのみ遂行し得られるといふ點が顧慮されねばならなかつた。

例へば自動車の増産は、言ふまでもなく、それに對應して増加さるべき車輪の生産とは全く異つた基礎に立つてゐる。又多量の自動車の生産も、同時にそれに對應する燃料の増産が確保されねば何の役にもたゝない。更に勿論動力化のみが我々の考慮すべき唯一緊急の問題ではない。他の諸問題も同様に重要である。それ故常に全く限定された即ち一定の勞力、資材、資金しかモーター化に使用することが出來ない。併し乍ら常に全體の一部の權限しか占めてゐ

ない。總監は勞力等に就いて決定することは出来ない。總監は出来るだけ僅かの勞力、資材、資金の調達で増産の條件が充たされるやう配慮せねばならない。又生産を如何なる程度に縮減、擴張すべきかは、國家にとつて必要な全重要問題を考察し得る高い地位の人々が決定する。

さて自動車總監がゲーリング元帥に依つて任命された時の状態はどうであつたか。

乗用車には五十二種の基本型があり、貨物自動車生産は百十三種の型に分たれ、自動自轉車には百五十種の型があつた。オート三輪車でさへ二十種の異なつた型で市場に出てゐた。乗合自動車、附隨車、牽引車も之に似たものであつた。即ち、此の三者を除いても三百三十五種の基本型を製作する無數の工場が全體の生産に當つてゐた。而も貨物自動車の方には積載量の異つたものが一五種製造されてゐた。

その結果、それぞれの型の車輛數は勿論比較的少數であるに違ひない。車輛數が少い程、生産に要する諸要素は非常に高價となり、それだけ一臺あたりの生産費が高價とな

る。

型の種類より更に一層種類の多いのは部分品、附屬品であつた。例へば獨逸には凡そ六千種のピストン、凡そ一萬二千種の瓣蓋があつた。之等個々の附屬品にも、自動車に就いて言はれたことが當嵌まる、即ち型數が多い程、一個當りは高くなる。

方向指示器、尾燈、停止燈等が百種以上も存する必要は毫も認められない。以上の如く型の數が多い程、勞力、資材、資金の運用が不經濟となる。此の事は自動車の製作、保存、修繕、販賣に關する總ての方向に言ひ得られる。

従つて之等の方面の仕事は總て不合理だといふことになる。例へば假りに——上述の事と結びつけて——單に一種のピストンのみがあるとすれば、非常な節約になり、大幅の値下が行はれることは言を俟たない。然らば僅かの勞力で、比較的少數の機械を用ひ、手持の原料を殆ど間斷なく使つてかなり多量の製品を従前より迅速に供給し得るであらう。その結果之に應じて品物の價格は低廉とならう。

修繕業者は一種類のピストンを用意してゐさへすればよく從來より僅少の補充品貯藏しか必要でなくなり、進んでは商人間の無駄な競争もなくなるであらう。

此の一例は型の單純化の利益に就いて特に注意を喚起せんがため選んだのであるが、一種類のピストンで間に合ひ兼ねることは言ふ迄もない。

之等の事は既に數年前より分つてゐた。人々は自動車製作の部分品を廣く規格化することに依つて整理を行はうとした。規格化に耐へ得る一切の部分品を極めて少數の規格に合致せしむることに成功すれば、それは疑もなく理想的な方法であらう。併しこの道は無限に長く、至つて困難なことが分つた。従つて今日に於ては二、三十年を費して斯く効果を收める如き仕事を願ふは遠く、當面の急に應じて短日月に徹底的成果を擧げることのみが問題となつてゐるのである。

總監は先づ第一に、現在の混亂状態を一舉に壊滅し得るやうな措置を見出し、そこから仕事に取掛らねばならぬか

つた。總監は型の制限といふ方法で解決策を見出したのである。

一つの型が消滅すると、それにつれて從來この型に使用された部分品、附屬品が消滅するのは當然である。型が消滅すればする程、益々部分品、附屬品の整理、補充用、修繕用ストックの整理は進行し、修繕業務は單純となり、販賣、取引の條件は單純化し、残された型へ割振られる個數は大となる。かくて、廣く型が整理されると、自動車に關係した一切の部門の分散状態が大部分是正される。型が少い程、戦争の場合の補充及補給も容易に有利に確保される。型が少ければ、それに應じて多くの車輛數が供給される筈であり又事實供給されるが、さうなればなる程一臺當りの價格は低廉になる。而して一臺の價格が廉ければ廉い程、販賣と輸出の可能性が増大する。

以上が第一の任務であつた。此處でこの任務は既に大體に於て果されたと云つて差支へあるまい。幸ひ參與された人々の理解ある協力によつて、五十二種の乗用車の型のう

ち凡そ二十八種乃至二十九種の型、即ち半数以上が除かれた。百十三種の貨物自動車の型のうち殆ど百種が消滅した。自動自轉車の型数は百五十種から約二十六乃至二十八種に減じ、二十種のオート三輪車の型のうち残されたのは二乃至三を出ない。即ち三百三十五種の型のうち約二百七十種が出来る丈急速に、生産全體を一時的にても縮小することなく、又經濟的存立を殆うすることなしに消滅したのである。

自動車の需要が高まる場合があれば、それを充たすために現在の型が相應數だけ増産されるのである。所で生産車輛數が多くなる程、勞力、資材、資金の運用が合理的となり、個々の製品が廉價となることを再び繰返しておこう。而して合理的に經營されれば、同一資力の運用によつて生産が増加するが或は又以前より少い資力の運用によつて従來通りの生産高が保持せられる。

我々は型の減少といふ斷乎たる處置を執つたが、仕事は決して未だ終つたのではない。何故なら自動車の型の減少

と同様に、今度は既存せる型の自動車の部分品、附屬品の減少を行はねばならぬからである。更に商業、手工業、交通、輸出及一般組織の方面に於ける合理化が必要であらう。既に之等の問題は大部分手が着けられてゐる。今度も前の場合と同様、比較的短時日に、目指す結果の得られることが期待出来る。

國防軍のモーター化は現經濟方面のモーター化を源泉とせねばならぬことは前に述べた。つまり前者は後者と異つた道を進んではならぬといふ結論になる。それ故國防軍に使用される自動車の型は出来るだけ經濟分野の型でなければならぬか、或は又何時でも國防軍の必要數が支障なく供給及補給され得るやう緊密に經濟分野の型に依存してゐなければならぬ。この事は國防軍モーター化の根本思想に一つの轉換を必要とするものである。この問題を之以上詳細に説明することは出来ないが、たゞ國防軍モーター化に於ては現在の型の約八五パーセントが間もなく消滅することを知れば足りる。

モーター化の完遂は一定の期間内に遂行し切れる程簡單ではないから、急速に實施することの必要及その理由に就いて説明したのである。併しながら、此の必要及早急な仕事も、若し總監が特に此の目的のために集めた特別の一大陣容を以て之等問題の解決に着手したとすれば、少しも抄らなかつたのであらう。確かに此の仕事には一大組織が必要であつたらう。組織内の人々は長い時間をかけ刻苦精勵して多岐に亘る個々の問題に習熟せねばならず、それで辛うじて役所の仕事が進捗するといふ経路を辿つたことであらう。それ故次のやうな方法を選ぶことにした。即ち非常に少數の粒選りの人々——本部は最低補佐役を含めて七人である——に個々の問題を提出せしめ、その問題の取扱方はその部門で最高の専門的知識を有する練達の士を傘下に持つ既設の官廳や工場内の責任ある人々や役人に委任する。之等の人々に——實業界の既設の諸組織に委嘱して大成功を収めた事も度々ある——目指す目的を指示して一定の任務を委託し、一定期間内に實用的答申案を必ず提出して貰

ふといふ遣り方をとつた。それに依つて得られたのは、特別の組織を作るために時間が空費されることもなく、努力を新たに集める必要もなく、國家に特別の失費をかけることもなく、専門家、老練家が統一的目的に従つて働き、統一的意志に依つて導かれ僅かの時間に積極的に仕事を爲し得たことである。

最後に當つて此の最初の單純化の方策は決して究極の方策ではないことを高調して置かう。併し單純化と合同が如何に促進されねばならぬか又他方それ等が如何に促進し得られるかは最初設けられた規準の結果として生ずるであらう。

